

◎ 業間や昼休み、清掃の時間は、電気を消すように呼びかけた。

節電



◎ 節電ポスターを作成し、電気の消灯を呼びかけた。

<今年度の目標を全校生に紹介後>



掲載用にマスクを外して撮影。



【エアコン】

【扇風機】

◎ エアコンの稼働は、30分おきに3台ずつ稼働するようにした。(設定温度を守り、児童下校後は消す。)

【エアコン使用規定・マニュアル】

令和2年度 温暖化防止にみんなで取り組む「福島県定書」事業の取組 下郷町立楢原小学校

温暖化防止のために、楢原小のできる活動を行う。

自分たちのできることを話し合う

<各学年・各学級で>

◇一人一人が自分の考えをもつ。
⇒ 実践することを決める。

<各委員会で>

◇委員会ごとに取り組めることを話し合い、活動を進める。

<全校で>

◇放送などで、取組を紹介・発表し合い、実践を進める。
※ 令和2年度はコロナ禍のため、全校集会等は中止。

<家庭や地域と共に>

◇「みんなでエコチャレンジ」を活用し、連携しながら取り組む。
◇リサイクル活動の取組を発信する。

◎ コロナ禍の中、うがい手洗いの励行をしてきたが、うがいはコップに水を汲み、手洗いは水を一度止めて行った。

節水



◎ 各委員会と協力し節水ポスターを作成し、節水を呼びかけた。



◎ 夏場は、児童一人一人が水筒を持参し、節水に努めた。

気候変動への対応

◎ デジタル温度計や簡易熱中症指数計を各教室・体育館に掲示し、注意喚起と併せて、運動前の体調管理を行った。



◎ 扇風機を多用し、指数計に基づいてエアコンを作動させ、熱中症予防に努めた。

結果・考察

環境保全活動

<学校>

◎ 用紙の裏面を活用



◎ 牛乳パックのリサイクル活動

◎ おはよう清掃



◎ アルミ缶回収
⇒ 収益金を環境美化活動へ

<地域>



省エネ活動の促進



【取組のお知らせ】

◎ 「みんなでエコチャレンジ」に併せ、家庭と連携して、分別や省エネ活動を呼びかけた。



◎ 「ごみダイエットドリル」にチャレンジ。

環境学習



◎ プリンのカップやペットボトル、小箱段ボールを活用。

◎ 自然観察や木工クラフト、森林環境学習に積極的に取り組んだ。

その他の取組

◎ 緑のカーテンとして、ヘチマやアサガオを栽培し、節電と景観の向上に努めた。

◎ 運営委員会が中心となり、ペットボトルキャップの回収を行った。



福島県定書の取組状況(過去3年間)

表彰	年度	電気使用量 (Kwh)	水道使用量 (ml)
	H30	11954	318
優秀賞	R1	9933	304
最優秀賞	R2	8057	264

温暖化防止に向け、一人一人が自分のできることを考え、節電・節水、省エネ・リサイクル活動に取り組んできた成果が大きい。またコロナ禍でも、節電・節水など、当たり前の実践をきちんと進めてきた取り組みが、結果として、電気・水道の使用量の削減、さらには、子どもたちの「温暖化対策」に向けての意識の向上につながった。